

# 災害から地域を守る！！



地域のコミュニケーションが  
災害から地域を守る  
**地域防災  
自主防災組織**

## 地域防災リーダー 研修会を実施

8月6日、地域防災リーダー研修会を総合文化会館で実施しました。自分たちの地域でおこる災害を認識し、対処方法を考えるために「昨年から府の主催で実施しているもので、自主防災部長ら87人が参加。

当日は参加者が地域ごとに10班に分かれ、白地図に浸水や土砂災害のおそれのある場所などを描き込んだ後、寝たきりの人などの避難行動要支援者や自営業などで昼間も地域に滞在する支援者などを想定し、昼と夜それぞれの場合の



支援や避難の体制などを考える図上訓練を行いました。地域のことに一番詳しいのは地域の人の。地域の実情に心じた課題などを共有することで「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」の取り組みの重要性を確認しました。



自分たちの地域は  
自分たちで守る防災の要  
**舞鶴市の消防団**

舞鶴市 20 個消防団からのメッセージ  
消防団は、市内の各地域を管轄し、それぞれの地域を自分たちで守るために活動しています。普段はほかに仕事をする傍ら、いざというときには災害活動などに従事する地域密着型の組織。それが「舞鶴市の消防団」です。

市消防操法大会の様子（7月3日）

## 災害対応はお任せ！

災害はいつ、どこで起きるかわかりません。舞鶴市の消防団は日夜警戒を怠らず、市民の安全・安心を守るため訓練を重ね、いざ災害が発生すれば直ちに現場に出動します。



## 日々の訓練の成果を発揮 消防団消防操法大会

第37回舞鶴市消防団消防操法大会を7月3日、海上自衛隊舞鶴教育隊グラウンドで実施しました。市内の20個消防団から、ポンプ車操法の部9チーム、小型ポンプ操法の部11チームが出場。日ごろの訓練の成果を競いました。



優勝した西消防団

《消防本部》

## 消防団員を募集 あなたの力が災害から町を守る

自分が育った町、自分たちが暮らす町、そして働く町。かけがえない町、大切な人たちが住む町を守りたい。その熱い思いがあれば、あなたも消防団に入団できます。消防団の活動は消火や防災だけではなく、災害から町を守るために、火災予防や防災啓発などを積極的に行っています。

地域をよく知るあなただからこそできることがたくさんあります。私たちの町を一緒に守るために…。あなたの力を消防団で生かしませんか。

【対象】 市内在住の18～44歳の健康な人（男女不問）

【待遇】 公務災害補償、活動服貸与、出勤手当、退職報償金 など

▶詳しくは、消防本部（☎66・0119）へ。



## あなたの力を消防団に 消防団協力事業所表示制度

従業員が消防団に入団しやすく、消防団活動をしやすい環境づくりなどに取り組む事業所に表示証を交付。事業所が地域への社会貢献を果たしていることをたたえる「消防団協力事業所表示制度」を実施しています。地域防災の一層の充実のために、事業所の皆さんの協力をお願いします。

▶詳しくは、消防本部（☎66・0119）へ。



## 地域を守る自主防災組織 訓練や勉強会で災害に備える

自主防災組織とは「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えのもと、地域の住民が連携し、自主的に防災活動を行う組織のことをいいます。

日ごろは、防災知識の勉強会や防災訓練の実施、地域の安全点検などに取り組みます。

災害時には、地域の被害を最小限に抑えるために、地域の消防団などと協力しながら、負傷者の救急や初期消火活動、情報の収集

## 自分たちで地域を守る 自主防災組織の結成・強化を

市では、自治会単位の自主防災部134組織と自治連合会や区長連合会からなる自主防災会（5月末現在）が結成されています。活動内容は組織によって差がありますが、地域の現状に合わせてできることから始め、組織の結成・強化を目指します。

《危機管理・防災課》

## 住民の声を聴き高齢化に強い持続可能な 自主防災の取り組みを



浮島会自主防災部  
谷岡桂子さん

浮島会自主防災部は「西地区が行っているような、各自治会が参加する訓練がしたいなあ」という当時の自治会長の一言がきっかけで結成しました。

高齢化が進む中で、担当や班を決めると長続きしないため、誰がどの役になっても指示を出し、救急、応急処置、安否確認ができるように毎年訓練を実施しています。運営は今年度と前年度の自治会長、婦人部長で行い、前年の経験を引き継ぐことで、高齢化に強い持続可能な運営を行っています。

自主防災組織は「自分の命は自分で守る！家族を守る！隣近所も助けられる余裕も！」というもので、誰かの命を救う、助けるという責任を感じる必要はなく、訓練に参加し、自信と安心を付けるものだけということを知ってほしいです。また、高齢者自身も、1人で逃げ、避難できる身体を維持していくことが大切です。

これから自主防災組織を立ち上げようと考えている皆さんへ。まずは行動を起こしてください。地域住民の意見を聞き、市役所や消防署にも相談してみてください。皆さんの活躍を応援しています。

## 防災行政無線を活用 新たに行政・緊急情報を放送

市では、9月1日（木）から防災行政無線を活用し、新たに行政・緊急情報を放送します。現在放送している気象警報の発表や避難情報、避難所開設などの防災に関する情報に加え、大規模停電や断水の情報、選挙広報、行事の延期・中止など、広く周知が必要な情報を市内全域や必要に応じたエリアにお知らせしていきます。主な放送内容は次のとおり。

▶詳しくは、危機管理・防災課（☎66・1089）へ。

### 【主な放送内容】

- ◆ 大規模停電情報 ◆ 水道の断水情報
- ◆ 道路交通情報（緊急時の通行止めなど）
- ◆ 水道管凍結対策の周知
- ◆ クマ出没情報（緊急時）
- ◆ 行方不明者などの発見協力依頼
- ◆ 市民的行事の延期・中止情報
- ◆ 選挙広報 など